

平成 28 年 12 月

お取引先様

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会  
理事長 田中 雄



溶融亜鉛めっきの価格適正化へのお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は溶融亜鉛めっきをご利用いただき、また弊協会会員に対しまして格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会会員は、溶融亜鉛めっきすることにより「鉄を長期にわたり錆から守る」という社会的コストの低減の一端を担ってきたと同時に、溶融亜鉛めっきの需要家様各位にご満足いただける製品を納め続けてきたと自負しております。また、弊業界会員は、溶融亜鉛めっきの品質向上に努めるとともに、経営の合理化を図り、地道な原価低減努力を日々続けております。しかしながら、弊業界の主原料である亜鉛の国内価格は年初のトン当たり 22 万円台であったものが、12 月には 38 万円に届くところまで、高騰しており、これは弊業界会員各社の懸命な経営努力をもってしても如何ともし難いレベルに達しております。

需要家様各位におかれましては、弊業界のこの窮状を何卒ご賢察頂き、今後も継続して安定しためっき加工が維持できるよう、弊業界会員である御社取引企業が参上した際には、深いご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具